



# かぶっとこ通信

令和2年度  
第2号ダイジェスト版  
10月3日

発行：高知県教育委員会事務局 学校安全対策課

令和2年8月6日（木）に行われた高知南警察署主催による「命を守るヘルメット！」講演会～みんなあでかぶろうや～の内容について紹介します。



## ■ R2.8.6開催「命を守るヘルメット！」講演会 ～みんなあでかぶろうや～

8月6日（木）に高知南警察署の主催による「自転車乗車時のヘルメット着用」をテーマにした講演会が開催されました。当日は、中学生、高校生、教職員、地域の方、総勢112名が参加しました。

講話



講師の塩見絵里香さんは、自身のお子さんが自転車乗車中に交通事故に遭い、一時意識不明の重体になった経験をされた方で、講演では入院中の映像を使いながら、家族の苦しみや後悔を自身の体験を踏まえて、お話してくださいました。

息子さんは、当時の状況を振り返りながら、「ヘルメットを被っていれば、こんなことにはなっていなかったかもしれない」「ヘルメットを被ることで交通事故から命を守ることができるので、自分の命をより大切にする選択をしてほしい」と参加者に向けて訴えかけました。

### 【事故の衝撃を実感】

講演に続いて、高知南警察署の交通課長が県内の自転車交通事故状況についての説明をしてくださいました。

また、実際に自転車乗車中に事故に遭われた方（大人）が被っていたヘルメットの展示もありました。

壊れたヘルメットの形状から、事故発生時に頭部が受ける衝撃の大きさがうかがえ、ヘルメットを着用していたからこそ命が助かったことが実感できるものでした。



ヘルメット  
試着コーナー  
もありました。

実際に  
かぶってみて  
意外と：  
悪くない！



### 【みんなでヘルメットを被るためのグループ・ディスカッション】

中学生・高校生からは、「校則でヘルメットを着用しなければならないと決まっていたら着用する人は増えると思う。」「まずは、自分が着用し、周りに呼びかけることが大事だと思う。」「ヘルメットを着用している時と、着用していない時の危険度の違いをもっと知ってもらおう。」など、様々な意見が出され、活発な話し合いとなりました。

また、実際に交通事故に遭った経験のある生徒から「ヘルメットを被ることで交通事故から命を守ることができるので、自分の命をより大切にする選択をしてほしい」との声もありました。



命を守る  
ヘルメット！



講演会の感想からは、「ヘルメットが命を守るために大切なことがわかった」「これからは自分がヘルメットを被ったり、重要性を周囲に広めたりしていきたい」など、今後の自分自身の行動について、前向きな声が多く聞かれました。

みんなあでかぶろうや！